



エヴォールクラウド& エヴォールセーフティサポートサービス

エヴォールクラウドは、ネット環境があれば、どこでも自店やグループ店のデータを確認できる。AI機能を標準搭載し、ワークリクシミュレーション機能などの新機能に対応。エヴォールセーフティサポートサービスは、様々なサポートサービスをワンパッケージで提供。最新機能を利用できるリモートバージョンアップなどに対応。



エヴォール接客サポートシステム& エヴォールスマートウォッチ

クラウド環境に対応。スマートウォッチの操作だけで簡単にMY顧客として登録、追加、削除ができる。グループラング通知機能では、会員の来店を自店だけでなくグループ全体で判定可能。ドミナント戦略に有効な機能。



エヴォールスマートセルフ交換機

POSを設置することなく、景品交換から精算までをその場で完結できるシステム。15インチ液晶タッチパネルでスムーズな操作を実現。ボイスアシストでユーザーは初めてでも安心して利用できる。硬貨取り忘れセンサーの搭載も可能。



エヴォールPOSシステム&エヴォールカードリーダー

従業員側モニター(写真中央)を12インチから15インチにサイズアップ。操作性がアップし、操作しやすいようにカスタマイズも可能。ユーザー側モニター(写真左)にはガイダンスランプを搭載。エヴォールカードリーダー(写真右)は、カード回収機能を標準搭載し、カード持ち帰りや紛失を防ぎ、ランニングコスト削減にも寄与する。



「進化」×「真価」×「深化」

今回発表したEVOALLシリーズは、3つの「シンカ」がテーマ。利便性・効率化・省力化を徹底追求し、売上・利益の最大化を図る唯一無二のトータルソリューションとなる。



2024マース 新製品発表展示会

【同時開催:マースセミナー2024】



エヴォールスマートユニット

スマパチ、スマスロに1台で対応。液晶はユーザーが180度動かせる、業界初の仕様。P・Sの切り替え時にはユニット工事や液晶改造工事も不要となる。電子ロックの搭載により、遊技台を開けることなくユニットを引き出せる。液晶LEDによる大当たり時のランニング演出、ユーザーの利便性を高めた一括払出機能や一時離席機能も搭載している。紙幣搬送仕様、紙幣ストック仕様、紙幣搬送接続仕様の3タイプを用意。

待望のマース新製品 EVOALL登場

マースエンジニアリングは7月2日・3日の東京会場を皮切りに、名古屋、大阪、福岡の全国4都市で「マース新製品発表展示会」を開催した。5年ぶりの大規模展示会となった今回は、新シリーズ「EVOALL(エヴォール)」の新製品を中心に発表した。(本稿では東京会場初日の模様をレポート)



株式会社マースエンジニアリング
江藤征弘代表取締役社長

展示会初日、東京会場で挨拶した江藤征弘代表取締役社長は、新旧遊技機の入替やコロナ禍など、ここ数年の厳しい情勢を振り返り、「これから先、業界も我々も新しいステージに向かっているかなければならないと考えている。弊社は今年、創立50周年を迎えるが、この機に新シリーズとなる『EVOALL(エヴォール)』をリリースする。日本の課題には人口減少があり、業界にとっては遊技人口の減少や働き手の不足が問題となる。その中で、働く人の手間を掛けず、お客様には簡単に使えて気持ち良く遊んで頂けるシステムを提案していく。効率化を図り、我々の業界がこれからも人々の心のともし火となるようなシステムを実現したい」と、新シリーズへの想いを伝えた。

展示会場では、そのエヴォールシリーズの新製品を多数お披露目した。その1つが、スマパチとスマスロを1台で対応する「エヴォールスマートユニット」。液晶画面をユーザー自身が180度動かせる業界初の仕様で、P・Sの切り替え時にはユニット工事や液晶改造工事が不要と、まさにこれからのスマパチ、スマスロ時代にベストマッチしたユニットとして来場者の注目を集めた。また、店長業務を大幅に削減・サポートするのが「エヴォールクラウド」。インターネット環境があれば、時間や場所を選ばずに自店やグループ店のデータを確認できる。AI機能を標準搭載し、ワークリクで翌日のシミュレーションが行える新機能などに対応する。ユーザーにとって便利な新製品は「エヴォールスマートセルフ交換機」だ。景品交換から精算までをその場で完結。従来のように精算機とセルフ交換機を行き来する必要がなく、スムーズな景品交換を実現している。その他にも効率化や利便性、省力化を徹底した新製品を提案。次世代のホール営業の在り方を感じさせる展示会となった。



独自の「PL指標」を用いて スマート機の現状・動向分析

パチンコ PL客数推移

11/6週					6/3週				
スペック	台数	台数比率	客数	客数比率	スペック	台数	台数比率	客数	客数比率
4円ミドル	9,274	59.3%	172,709	58.4%	4円ミドル	9,005	55.6%	169,069	50.4%
4円ライトミドル	2,373	15.2%	42,800	14.5%	4円ライトミドル	2,934	18.1%	65,764	19.6%
4円ライト	3,721	23.8%	76,278	25.8%	4円ライト	4,062	25.1%	96,489	28.7%
4円その他	265	1.7%	3,985	1.3%	4円その他	208	1.3%	4,293	1.3%
累計	15,633		295,772		累計	16,209		335,615	

●4円ミドル -3,640人(増減率-2.1%) ●4円ライトミドル +22,964人(同+53.7%) ●4円ライト +20,211人(同+26.5%)

スマスロ 年代別会員数-コイン単価別

	20代		30代		40代		50代		60代~	
2.5円未満	6,193	12,605	9,293	3,011	1,127					
2.5円以上3円未満	3,768	6,371	4,974	2,798	1,557					
3円以上3.5円未満	130,644	184,736	157,259	94,519	49,378					
3.5円以上4円未満	35,895	53,283	42,080	24,781	12,486					
4円以上	73,916	85,691	61,148	29,185	11,478					

	20代		30代		40代		50代		60代~	
3.5円未満	140,625	56.2%	203,712	59.4%	171,472	62.4%	100,328	65.0%	52,062	68.5%
3.5円以上	109,811	43.8%	138,974	40.6%	103,228	37.6%	53,966	35.0%	23,964	31.5%
累計	250,436		342,686		274,700		154,294		76,026	

まず、山本氏はパチンコ・パチスロの全体業績について解説。パチンコにおいては1人あたりの遊技時間が下がっているにもかかわらず、粗利そして投資金額が増えている点を示し、辛い営業に終始している現状を指摘した。

そんな低迷が続く中、復調のきっかけとして期待されていた「ラッキートリガー機(以下、LT機)」の業績に着目。LT機が一斉に登場した3月4日、また注目機種『P魔法少女まどか☆マギカ』が登場した6月3日の週で、稼働上昇、またライトミドル、ライトの遊技頻度の上昇が見られたとした一方、4円全体の稼働底上げにはつながっていないことが明らかにされた。「初動は良いがその後の稼働が伸び悩んでいる。LT機は20~40代の若年層からの支持は高いが、高齢層

が敬遠気味。LT機をメインに据えて行くには高齢層に打ってもらえるような訴求が必要」と提唱した。

パチスロにおいては、スマスロのヒット機種が市場を牽引し、アウト・売上ともに好調である反面、PL指標で分析すると短時間遊技の傾向が見られると指摘。その要因の一つとして、コイン単価の高い台が増え、ラインナップに偏りが出てきている点を挙げ「投資金額は有限で、荒い機種ばかりになるとユーザー離れが懸念され、稼働の伸びしろなくなる。高単価機もLT機と同様、若年層を中心に支持が高い。自店の客層がそれにマッチしていれば問題ないが、高齢層中心の店舗の場合は、台選定を見直すべき」と警鐘を鳴らした。



キャッシュレスシステム MarsPay
 ユニットからダイレクトで遊技する方法は、スマートフォンにアプリをインストールし、ユニット画面のQRコードを読み取って、使う金額を選択して遊技する流れ。キャッシュレスに対応していないユニットの店舗を想定して、発券機でカードを発券する方法も提案しており、この場合もスマホにアプリをインストールして、発券機の画面からQRコードを読み取って遊技する流れとなる。



駐車場見回り業務DX& 駐車場サービス券・発券管理システム
 駐車場見回り業務DXでは、スマートフォンを使って駐車場の車両ナンバーを読み取ることで、見回り業務の効率化を図る。ナンバープレートを読み取るスピードが格段に速い点の特徴。駐車場サービス券・発券管理システムは、ハンディターミナルを活用し、駐車券の読み取り作業などの効率化を図れるシステムだ。



顔認証システム
 店内に設置したカメラを利用して、顔認証でセルフ景品交換が可能になったり、家族申告プログラムと連動して来店通知を行ったりできる仕組みを提案。顔認証によるセルフ景品交換では会員カードの出し入れが不要になるなどユーザーの利便性が向上する。

実用化が待たれる
 参考出品の製品群

エヴォールシリーズ以外にもマースの発想力と開発力を感じさせたのが参考出品の製品やシステムだ。

業界の中で今、議論が進められているキャッシュレス化に対応するシステムとして参考出品したのが「MarsPay」だ。スマートフォンにアプリをインストールし、ユニットからダイレクトで遊べる方法と、発券機を利用して遊ぶ方法を提案。技術的にはすでにキャッシュレス対応は実現可能で、あとは業界全体の動きに合わせるだけという状況だ。

「顔認証システム」は、店内に設置したカメラを利用して、会員カードがなくても景品交換ができる仕組みや、家族申告プログラムなどへの運用も想定している。

さらに、グループ会社の(株)マーストーケンソリューションが「駐車場見回り業務DX」と「駐車場サービス券・発券管理システム」を参考出品。同社の強みである自動認識システムの技術を、駐車場関連の作業軽減に役立てている。